

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(25112)		
時間割担当	鎌田首治朗		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、人間教育学に関する基礎的・基本的な理解と実践的な活用を行う。小学校教員に求められる児童理解、教育実践、指導力に関わる事例を取りあげ、学生自らが取り組む中で、学生による自己内対話を重視し、学生自身が自己理解、自己発見、自己変革に向けた各自の理解と認識を深めていくことを目指す。

学習の到達目標

基礎的な学習として、児童理解を支える自己理解、自己理解を支える自己内対話の重要性を理解し、小学校教員に求められる児童理解、教育実践、指導力に関わる事例を取りあげ、学生自らが取り組む中で、学生が自己のふるまいを分析的、複眼的に思考することを重視する。

授業方法・形式

1. 自身の学習テーマに対して、資料や集団的討議を生かし、自己に対する観点づくりや認識を深めていく。
2. 自身の学習経過を文字化し、そこに現れた自己をとらえ、他者と交流する中で、自己の観点や認識を深めていく。

授業計画

- 第1～2回 学習の基本方向についてのオリエンテーションと、自身の学習計画を作成する。
- 第3～7回 自身の研究計画に基づき、第1回ゼミ発表会に向けた研究レポートを作成する。
- 第8回 第1回ゼミ発表会を行い、自身の学習内容を提案し、互いの学習内容をゼミ内で共有する。
- 第9～13回 自身の研究計画に基づき、第2回ゼミ発表会に向けた研究レポートを作成する。
- 第14～15回 第2回ゼミ発表会を行い、自身の学習内容を提案し、互いの学習内容をゼミ内で共有する。
- 第16～17回 自身の前期の研究内容、共有した内容から、自らの研究方向、ゼミの研究方向について確認し、必要な助言、指導を受ける。
- 第18～24回 自身の研究計画、研究成果に基づき、第3回ゼミ発表会に向けた研究レポートを作成する。
- 第25～27回 第3回ゼミ発表会を行い、自身の学習内容を提案し、互いの学習内容をゼミ内で共有する。
- 第28～30回 1年間の学習成果を自身の資料として完成する。

成績評価の基準

第1回から第3回までの研究発表会での成果、実践的な取り組みにおける行動、発言、基礎的内容に関する理解、作成したゼミ資料の質をもとに評価をする。

授業時間外の課題

オリエンテーションの中で指示をする。

メッセージ

まずは、自己の課題を明確に語れるよう心がけること。求められるのは、意欲である。意欲は、主体性、能動性につながらなければならない。自己に問い続ける、謙虚に学び続ける、自己を磨き続けるという続ける力を鍛えようとゼミに臨んでほしい。

教材・教科書

必要としない。

参考書

ゼミナールの中で指示する。